

# 平成28年度 Extra 応用動物科学セミナー

## ヒト, マウスだけじゃない! 実験動物の多能性幹細胞の樹立と利用

マウス胚, およびそれに続くヒト胚からの多分化能を有する幹細胞の樹立は, 様々な細胞に分化することができる能力(逆に, 分化できない性質)の根底にある分子機構の解明や, 再生医療への道を拓いた。しかし, 獣医学領域への利用やヒト疾患モデル動物の作出を目指した, 霊長類, あるいはその他の動物からの多能性幹細胞を用いた研究への挑戦は今でも続けられている。本講義では, これらの研究の第一線で活躍する国内研究者を講師に迎え, 最新の研究を紹介していただく。

- 13:00-13:20 イントロダクション:ほ乳類の初期胚に由来する幹細胞  
田中 智 (東京大学大学院農学生命科学研究科)
- 13:20-14:10 ヒト再生医療の実現に向けたイヌ多能性幹細胞の創製  
稲葉俊夫 (大阪府立大学大学院生命環境科学研究科)
- 14:10-15:00 動物種の特徴を生かした多能性幹細胞研究  
本多 新 (宮崎大学テニュアトラック推進機構)
- 15:00-15:10 休憩
- 15:10-16:00 カニクイザル多能性幹細胞および遺伝子組換えカニクイザル作製の試みについて  
依馬正次 (滋賀医科大学動物生命科学研究センター)
- 16:00-16:50 コモンマーモセットの発生工学研究  
佐々木えりか (慶應義塾大学 先端研究センター / 実験動物中央研究所)
- 16:50-17:00 総合討論

● 10月14日(金) 13:00 ~ 17:00  
弥生講堂一条ホール

● 本講演は獣医学専攻大学院講義「獣医学特論」として開講されますが, 受講者以外にも広く公開するものです。動物科学のフロンティアの講義としてはカウントしません。

● 問い合わせ先:  
応用動物科学専攻 細胞生化学研究室  
田中 智 准教授

☎ 03-5841-5372    ✉ [asatoshi@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp](mailto:asatoshi@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp)

